

◆三宅和広議員 てんどう創生の会、三宅和広でございます。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス予防接種の予約に関しては、コールセンターにつながらない、高齢の方はインターネットが使えない、すぐに予約がいっぱいになってしまうといった混乱が生じました。

5月11日から、公民館等での予約申込書の預かりを始めたこと、またワクチンが順調に入り始めたことにより落ち着いてきて、ほっとしたところです。私も5月6日の予約、受付開始日には、私個人のタブレットを公民館に持っていきまして、予約のお手伝いをさせていただきました。また、5月11日からの予約申込書の預かりでも公民館に行き、お手伝いをしました。また、ホームページ、それから私のフェイスブックで情報を発信し、幾らかでも混乱と不安の解消につながったのではないかと考えております。

7月以降に65歳以下の方の接種が始まります。現役世代であることを考えると、多くの方が働いている時間である9時30分からの予約開始では実情に合わないと思いますし、他市の予約方法で参考になるものがあるようです。ベストな方法を考えていく必要があると思います。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

今回は、「ドローンなどの最新の消防資機材の導入について」と、「GIGAスクール構想により貸与されたタブレット端末の家庭学習での利活用について」の二点についてお伺いします。まず、ドローンなどの最新の消防資機材の導入についてお伺いします。

火災現場での家屋外部からは見えない内部の確認作業にドローンを使えば、安全にスピーディーに行えるのではないのでしょうか。

先日、新聞を見ていて気になった記事があります。火事に関する記事で、2階部分の延焼状況の確認をはしごをかけて行っている写真でした。はしごをかけて確認するとなると、火事が鎮圧しないと確認できませんので、時間的に遅くなってしまおうと思います。こうした場合、ドローンを使えば安全にスピーディーに行えるのではないかと感じました。また、延焼中でもどこが燃えているかの確認を、ドローンを使えばより多くの情報を得ることができ、どこに放水するといったのか、判断に役立つものと思います。

また、水害や土砂災害の発生する恐れがある状況下や、発生時に現場での状況確認にドローンを使えば、安全にスピーディーに行えるのではないのでしょうか。

全国的に見ても、消防本部でのドローン保有率は、平成29年度では9.6%だったものが年々増加し、令和2年6月には27.7%になったとのこと。今後ドローンを導入し、活用していく必要があると考えますが、市の考えをお伺いします。

次に、通報者が現場の状況をリアルタイムに伝えるシステムの導入についてお伺いします。

広島県廿日市市では、119番通報した人のスマートフォンから現場の映像を中継してもらうシステムを導入しています。通報を受けた通信司令官が、より詳しい負傷者や火災現場の状況を確認する必要があると判断した場合に、通報者にショートメールで専用のURLを送信し、通報者がスマートフォンでそのURLを開くと、カメラが自動的に起動し、撮影した映像

が司令官に届くというものです。撮影中も会話ができ、救命措置について指導したりすることができます。

このシステムを使うことにより、被害状況を詳細に把握することができるようになり、最適の出動体制の検討に役立てることができます。また、救命措置の指導にも役立てることができます。今後、本市においても導入を検討する必要があると考えますが、市の考えをお伺いします。

次に、GIGAスクール構想により貸与されたタブレット端末の家庭学習での利活用についてお伺いします。

児童生徒に一人1台のタブレットが貸与されました。授業内では、各教科に合った使用がなされ、タブレット導入の効果が出てきているようです。

一例を挙げると、思考力とプレゼン力を育成するためにロイロノートというアプリがありますが、これは各自が使ったカードを全員で共有するといったタブレットだからこそできる授業が可能になったというお話をお聞きしました。

また、学校近くの様子を調べるまち探検などのときに、記録写真をタブレットで撮影し、まとめて活用しているようです。このように、タブレットは大変利活用されており、今後さらに利活用が進むものと思います。

一方で、このタブレットの家庭学習での利活用はあまり進んでいないのではないのでしょうか。

タブレットを使った授業の復習を自宅でするときに、タブレットがあったほうがいい場合もあるでしょうし、タブレットにインストールされているeライブラリアドバンスというアプリは、児童生徒の解答内容から理解度を判定し、個々の児童生徒にとって最適な出題をするAI型ドリル教材との説明を以前受けていますが、こうしたアプリは家庭学習でも使えるのではないのでしょうか。

タブレットの導入の効果を高めるためにも、家庭学習でのタブレットの利活用を進める必要があると考えますが、市の考えをお伺いします。

次に、Wi-Fi環境が整っていない家庭へのモバイルルーター等の貸与についてお伺いします。

新型コロナウイルス感染症は、変異株が出現し予断を許さない状況だと思います。もし仮に感染が蔓延し、オンライン授業が必要となった場合に、Wi-Fi環境がない家庭では自宅での学習ができない状況になります。また、タブレットの利活用が進み、家庭でも授業の調べ物をしたり、動画を見て学習するような状況になった場合には、Wi-Fi環境がない家庭では自宅での学習ができない状況になります。

さらに、児童生徒全員がタブレットを持っているのですから、全員がWi-Fiにつながっていれば、長期休暇中に例えば月曜日の9時からクラス全員でミーティングをしようといったことも可能になります。しかし、全員がWi-Fiにつながっていない場合には、全員参加にはならないので実施できません。

社会的にオンライン会議はよく利用されるようになっていますが、学校でもこうしたシステムの活用を進める必要があるのではないのでしょうか。

タブレット導入の効果を高めるためにも、Wi-Fi環境が整っていない家庭にモバイルルーターを貸与してはどうでしょうか。市の考えをお伺いします。

以上、1回目の質問といたします。

◎山本信治市長 三宅和広議員の御質問にお答え申し上げます。

初めに、ドローンなどの最新の消防資機材の導入についてのドローン(無人航空機)の導入について申し上げます。

ドローンの導入については、本年度の当初予算に計上し、既に見積り合わせを行い、発注も済んでおります。

消防本部においては、鎮火後の火災原因調査への小型ドローンの活用を考慮しており、上空から焼損範囲や燃焼状況を確認し、出火元などを判断する考えであります。また、自然災害による危険箇所や被害状況の確認など、情報収集での活用も考えております。

次に、通報者が現場の状況をリアルタイムに伝えるシステムの導入について申し上げます。

このシステムは、119番通報後、現場にいる通報者等にスマートフォンのカメラによる撮影を依頼し、送られてきた映像を確認するものですが、通報者などの協力が必要となることから、市民に対するシステムの周知と理解を得ることが課題と考えております。

今後は、先行して導入している自治体の運用状況を調査するとともに、他自治体等の動向を踏まえ、このシステムの導入についての有効性を研究していく考えであります。

◎相澤一彦教育長 おはようございます。

三宅和広議員の御質問にお答え申し上げます。

初めに、GIGAスクール構想により貸与されたタブレットの家庭学習での利活用についての、タブレットの家庭学習での利活用について申し上げます。

GIGAスクール構想で整備されたタブレット端末は、今年度から本格的に授業で使用されております。これまでの教育実践の蓄積に加え、タブレット端末を活用することで、学習活動の一層の充実を目指しております。

タブレット端末や学習支援ソフトの選定に当たっては、現場の先生方の意見から、オフラインでも利用が可能であることを条件としております。学習支援ソフトは、学校内でウェブページ等から情報を収集し、家庭でテキストを打ち込むなどの編集作業を進めることができます。また、AI型ドリルは、学校で問題をダウンロードすれば、家庭でも同様に問題に取り組んだり、解説資料で確認したりすることもできます。

このように、学習支援ソフトとAI型ドリルは、オフライン下でも利用できることから、家庭での積極的な利用を進めているところであります。今後は、家庭におけるタブレット端末の多様な利活用について、情報提供をしてみたいと考えております。

次に、Wi-Fi環境が整っていない家庭へのモバイルルーター等の貸与について申し上げます。

モバイルルーターを利用するためには、各家庭において通信会社と契約して、毎月通信料を支払う必要があり、家庭での経済的な負担が伴います。このため、先ほどお答えしましたように、現時点では学習支援ソフトを使用すれば、オフラインでもタブレット端末を利用した

家庭学習が可能でありますので、学校でデータを更新して、家庭に持ち帰るような活用法を進めてまいります。

なお、今後、他市町村の事例を参考にしながら、安全・安心かつ効果的なオンラインを活用した家庭学習について、調査研究してまいります。

◆三宅和広議員 御答弁ありがとうございました。

先ほど、ドローンのほうで見積りを取っており、現在進行しているということで、大変安心したところでございます。

この小型のドローンを導入して、火災の原因調査等に使われるということでございましたけれども、この辺のところの詳細について御説明をいただければと思いますが、よろしくお願ひします。

◎高麗邊貞市消防長 お答えいたします。

今回購入するドローンについては、主に火災原因調査に使っていきたいと考えております。

上空からの映像によって、燃焼範囲の計測やまた燃焼の広がり具合、トタンの変色具合によってどちらから燃焼が広がったかを確認するという状況を確認したいと思っております。

以上です。

◆三宅和広議員 火災の原因調査ということで使われるということでございましたけれども、私、先ほどお話をしたときに、燃えているときに、何か2階部分の中を確認するような話をしましたが、そういったことの活用というものはやらないんでしょうか。できないというか、そこはどうなんでしょうか。

◎高麗邊貞市消防長 お答えいたします。

今回購入するものは、耐熱性にはちょっと優れないものでありまして、高温状態には耐えない、40度までしか耐えられないということに記載なっております。

また、高温に耐えるドローンというのが販売されているかどうかというのを、まだ調査していませんので、今後また調査研究しながら、随時バージョンアップというか、機種の変更等も考慮したいと考えております。

◆三宅和広議員 ありがとうございます。

それで、先ほどの市長の御答弁の中で、災害発生時についてちょっと触れられた部分があるかと思いますが、その辺のところ、もう一度詳しくお願いいたします。

◎高麗邊貞市消防長 お答えいたします。

災害発生時にも使うという目的では今のところ検討されています。ですが、強い風、風速5メートル以上では飛ばせないと思っております。また、強い雨でも防水性能がドローンにはないので、こちらも使えないということで、災害が終わったときの状況確認、また災害が始まろうとする前の状況確認、そちらのほうで使っていきたいと考えております。

以上です。

◆三宅和広議員 災害発生時、風が強いとか雨が降っているときというのは、まず難しいというのは分かりますので、その辺のところは致し方ないのかなと思いますが、発生する前のときとか、やはりその後の確認のときには、ぜひ活用していただければと思います。

先ほどの中で、耐熱性がないということで、今後、耐熱性があるようなドローンがあるのかどうか、調査されるということでございますけれども、ぜひその辺のところも進めていただいて、よろしく願いしたいなと思っておるところでございます。導入するのであれば、やはり効果の高いものを導入していただいたほうがよろしいのかと思いますので、ぜひ、よろしく願いいたします。

それで、ドローンですね、操縦する技術というものが必要になってくるかと思いますが、小型のドローンということで、どれくらい難しいのか私も素人なので分かりませんが、その辺のところ、研修とかそういったものはどのようにお考えになっているんでしょうか。

◎高麗邊貞市消防長 答えいたします。

今回、購入するドローンについては、重量が軽量なものでありまして、小型のものになります。国の基準といたしましては、まだ操作講習が必要なものではありません。

なお、購入先の指導員のほうから、操作方法等を伝授いたしていただきまして、操作に当たっていきたいと思います。また、訓練等を重ねて操縦できるような形、また今年度、操縦についても方向性が変わる、基準が変わるといった可能性もありますので、そちらも注視しながら来年度に向けて勉強していきたいと考えております。

以上です。

◆三宅和広議員 よろしく願いいたします。

それで、今回導入されるドローンということで、小型のものということがありました。

災害発生時じゃなくても使えるようなドローンを市として準備をすれば、災害にも使えるのではないかなと思っておったところです。

具体的に申し上げますと、例えば観光地の空撮ですね、そういったもの。桜まつりとかもみじ園の空撮を行ったり、それから建設部や農林課関係の現場の確認の写真を撮ったり。それから、小学校や中学校で卒業式とかそういったイベントがあったときの空撮の写真を撮ったり。それから、授業なんかでも小型のドローンでは届かないところの空撮を行ったりというようなことも可能なのかなと思ったところです。

これは通告外になるでしょうから答弁は求めませんが、できれば市として、そういった災害発生時に使うということを念頭に置いて、大型のドローンというものを検討していただきたいなという気がしております。これは調査研究をしていただければということでございますので、特に答弁は求めません。よろしく願いいたします。

次ですが、現場のライブ映像を指令室のほうに送るといふ、Live119 番というような名称で私、確認したんですけれども、今年の4月の時点で、岡山県倉敷市など 12 の消防機関で導入されているというようなことでもございました。

検討するというような内容だったと思いますが、その辺のところ課題とかそういったもの、もう一度お願いしたいと思います。

◎高麗邊貞市消防長 お答えいたします。

Live119、現場が見える 119 番通報については課題が何点かあります。

市長答弁にもあったとおり、一旦通報者から必ずタブレット端末、もしくはスマートフォンで通報していただくことになると思います。また、そちらにこちらからアドレスを送って、それを選択していただいてカメラを撮っていただくということも、また支障となってくるのかなと思っております。また、こちらのライブ映像、撮っていただくのはいいんですが、肖像権やそちらの問題も多少含まれてくると思っております。

以上です。

◆三宅和広議員 肖像権とか、それから協力いただけるのかという部分があるということでございます。

実際に他市でも導入している実績があるということを考えると、肖像権とかいった問題は、何かの方策でクリアしているのかなと思います。

問題は、市民の方への周知が大変重要なのかなと思いますので、その辺のところ市民への周知を図った上で活用できないのかということ、今後検討していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

ドローンとかそういった最新の消防資機材の導入についてお伺いしましたが、特にドローンは、いずれ配備するのが当たり前になる機材になるのではないかなと思います。

私、この質問、ドローンの導入ということを考えるきっかけになったのが、焼津市の消防団のほうでドローンを4機購入して、その専用の指揮車を準備して配備したというような事例がありました。焼津市消防団ということで、焼津市とお隣の大きな市の二つで広域消防組合をつくっているということで、消防本部ではなく、消防団ということで、ドローンを準備したというようなケースだったと思います。

調べてみますと、消防庁のほうから消防団のほうに、ドローンを資機材として購入できるような、支援できるようなふうにならなうに今年度だったか昨年度から変わっているように調べたところあったんですが、その辺のところ、状況把握していらっしゃればお願いいたします。

◎高麗邊貞市消防長 お答えいたします。

議員のおっしゃるとおり、消防団のほうに配備ということで、国のほうで無償提供している制度があるそうです。

現在、こちらのほうでも要求しようか検討中でありまして、なかなか人員の確保というのが一番ネックとなってきますので、そちらのほうを十分考慮しながら進めていきたいなと思っています。

以上です。

◆三宅和広議員 焼津市のドローン4機ということで、これくらいの大きさのドローンだったというふうに記憶しております。そんなに大きなドローンでもないのかなというところでした。ぜひ、天童市としても、消防団のほうでそういったことに手を挙げる団があるのかもしれないので、周知を図っていただければと。人員も団のほうでできるのであれば、ぜひ導入して対応していただければと思います。よろしくお願いいたします。

ドローンについては以上にさせていただきたいと思います。他市の状況等を見ながら本格的なものの導入とか、ベストの体制に持って行っていただければいいのかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

次になります。GIGAスクール関係のタブレットの利活用についてのところに移りたいと思います。

オフラインでも使えるようなものがアプリとして入っているということで、AIドリルとか学習支援ソフトが入っているというようなことでございました。

せっかくタブレットがあるので、家庭学習に使わない手はないのかなと思ったところがございます。家庭学習、何でこう力を入れなければならないのかなと思ったところをちょっと御紹介したいと思います。

文部科学省が、子どもたちの学力状況を把握するために実施しております、全国学力学習状況調査、いわゆる全国学力テストというものなのですが、こちらの正解率が高いということで知られています秋田県なのですが、秋田県の教育長の安田浩幸さんという方が記載されているものがありまして、何で秋田県は正解率が高いのかというようなことを書かれておりました。

これは、家庭における基本的な生活習慣、そういったものが身につけている、それから小中学校の全学年と高校1年で少人数学級を実施している、こういったことが要因だというふうに書かれておりました。

家庭における基本的な生活習慣ということで、これは秋田県の全県的な取組みのようなのですが、家庭学習ノートというものを活用しているということでございました。これ、秋田魁新聞社さんが推し進めているような取組みのようでもございますけれども、児童が毎日、教科と内容を自分で決めて家庭学習をして、それを学校に提出する。学校に提出する前に家庭の保護者の方から目を通してもらうというようなこともやっているようでもございますけれども、そうすることによって予習、復習の習慣が身につけている。それが全国平均よりも高くなっているというようなことがあるんだということで、家庭学習というものは大変重要だなと思ったところでございました。

せっかくのタブレットなので、そこを活用していく必要があるのかなと思ったところがございます。そのところ、教育長さんの御答弁の中で、積極的に今後とも進めていきたいというようなことでございましたので、ぜひその辺のところよろしくお願いいたします。

あともう一つ、小中学校の全学年と高校1年の少人数学級というのがありましたが、これは、秋田県は「さんさん」プランではなく、30人学級だそうですね。そういったことがやはり正解率が高い要因だというふうなことでございました。その辺のところもぜひ参考にしていただいてというか、もう既に教育長の頭の中では使っていきたいということだと思いますが、その辺のところもう一度、教育長のお考えをお聞かせいただければと思います。

◎相澤一彦教育長 今、議員から御指摘いただきましたように、まず一点目は、家庭学習の習慣というものが極めて重要であることは認識しているところであります。

内容、その他については、若干の個別の差はありましようけれども、本市でも同様なことを小中とも取り組んでいるところでございます。

二点目は、少人数の学びということについてでありますけれども、昨日の答弁でもありましたように、「さんさん」プランの活用、あるいはさらなる学びの工夫によって、そういうことを生かしていきたいと思っているところです。

なお、それで活用できるのが、私はタブレット端末ではないかなと思っているところです。タブレット端末は、一人ひとりの学びを記録し、あるいは評価され、あるいは交流できる、そのために今回導入されたアプリによって、家庭でも活用したものを保護者に見ていただいたり、そして次の発表に使ったりということが出来ますので、そんなことで活用していきたい。

まとまりのない話になりましたけれども、児童生徒、一人ひとりの学びを生かしながら、よりよい指導に努めてまいりたいと考えております。

以上です。

◆三宅和広議員 今の教育長のお話の中で、家庭の方からも見ていただくという部分がありました。これは大変重要なことだと思います。子どもさんをやはり褒めて育てるというようなことが大変効果があると、これは秋田県の家庭学習ノート、これも保護者から見てもらって、褒めてもらってという、それがやりたいという意識に変わっていくというようなことでございましたので、その辺のところも踏まえて、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

モバイルルーターのほうに話は移りますが、モバイルルーターということで、他市の状況をちょっと調べてみました。

山形市さんの状況でございますけれども、今年度、令和3年度、5、6年生と中学生を対象に12月から貸し出す予定ということにしておったそうです。ですけれども、今回のコロナの影響で、それを前倒しをして実施しようということで、計画を進めているということでございます。

今年度は、5、6年生、中学生ですけれども、令和4年度、来年度は3、4年生に拡充をしていきたい。それから、その後の状況については、1年生、2年生については、状況を見て判断していきたいというようなことでございました。

先ほど、通信料のお話があったかと思ひますけれども、山形市の場合ですと10ギガバイトまでの通信が可能なもので、月額使用料が1,155円という金額だそうです。この金額でございませうけれども、要保護世帯の場合ですと生活保護の教育扶助費が利用できるというようなことになったと思ひますので、要保護世帯については個人の負担がなく使用できるというようなことでございませう。準要保護の世帯については、個人負担が生じるということで、山形市の場合ですと月1,115円は妥当な金額であろうということで、判断をしたというようなことでございました。



ほかにも、鶴岡市でも就学援助受給世帯の児童とか生徒に対応するというような取り組みを行っておったり、他県ですとさいたま市が、就学援助世帯を対象に学習のための通信費を補助しておったり、それから草津市では、貸与事業の実施要項なんかも定め、準要保護世帯についても市が負担をするというような取り組みを行っているというようなことをございます。この辺のところ、こういった他市の状況を踏まえて、教育長はどのようなお考えでしょうか。

◎相澤一彦教育長 お答え申し上げます。

他市の様々な状況については、認識しているところでございます。ただし、これを実施するためには、例えば先ほど議員から御紹介がございました山形市さんの場合は、前もって通信費をともも契約しておくというような必要があるというような問題や、先ほど、また議員の紹介にもありましたように、オンライン、オフラインを前提としたソフト、十分使えるソフトを使い方を前提としたタブレット端末を準備している等々を含めると、他市の状況を少し検討しながら、現場からも自由につながる危険性もあるんだと、いろいろな動画を見ていたということもある可能性があるんだということも聞こえますし、そういう使い方を徐々に丁寧に指導していきながら、ルーター等の貸与準備についてもどういうやり方がいいのか、通信費の負担の仕方については何がいいのかを考えながら検討してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

◆三宅和広議員 学習に関係ない動画を見ているというようなケースもあるというようなことで、他市の場合ですと、貸与するときに誓約書、学習以外には使いませんよという誓約書を書いてもらって、一応歯止めをかけようというようなことをやったり、具体的な実施要項を定めたりしておるようなところがあるようでございます。その辺のところを検討していただいでぜひ導入していただければ、例えば先ほど申し上げましたように、いろいろネットで調べ物の学習をしたり、それから、学習塾に代わるようなユーチューブの番組なんかもありますので、そういったものも見られるようなところがあれば、教育環境がよくなるのではないかなというふうに思ったところでございます。その辺のところをぜひ考えていただければいいのかなと思います。

私、議員になって初めての一般質問、平成 27 年 12 月の定例会で行った一般質問でございますけれども、子どもたちに学習習慣を身につけさせ、基礎学力を向上するための学習教室を開講してはどうかということで、これは貧困の世代間連鎖を断ち切るために、貧困による教育の格差をなくさなければならないということで、無料の学習塾を開いてはどうかという御提案をさせていただきました。

現在、生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援事業ですとか、それからひとり親家庭学習支援事業なんかが実施されております。これは、福祉部門のほうで実施しているものだと思いますけれども、生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援ですと、利用者が少ないという状況があったのかなというふうに聞いております。それから、ひとり親家庭学習支援ですと、これはひとり親でない対象にならないというようなことがあったり、それか

ら、総合福祉センターですか、市内1か所だけに限られておりますので、遠くの方は参加できないというようなことがあったりすることがあります。

無料の学習塾、こういったものを拡充ができないのであれば、タブレットを使って家庭学習をできる、そういった環境が大変必要になってくるのかなというふうに考えたところでもございました。こういったことも考えに入れていただいて、今後検討していただきたいなと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

通信費、いろいろどれくらいかかるのかなというようにあったと思いますが、先ほど準要保護世帯の場合ですと山形市ですと個人負担、それから草津市ですと市が負担というようになっておりました。天童市の場合、実際、準要保護世帯というものは何世帯あるのか、その辺のところをお知らせいただければと思います。

◎武田文敏教育次長 お答え申し上げます。

天童市の準要保護世帯というようにございませけれども、昨年度の世帯でございませけれども、小学校が182名、中学校が111名、合わせまして293名でございませ。

◆三宅和広議員 293ですか、約300世帯というようにございませ。

山形市の場合ですと月1,155円ということで、これ12か月、それに300世帯を掛けると大体410万円ほどの金額になるわけなませけれども、全額市の負担でなくとも半額くらいの受益者負担という部分を考慮して、市としての負担を半分ぐらいにするというようにも考えられるのかなと思います。

大体半分ということで500円ほどの金額になるかと思うんませ、12か月で300世帯とすると180万円の金額というふうになります。この金額、このぐらいの金額であれば市としても負担可能なのかなというふうに考えたところませ。

前に私、企業版ふるさと納税を活用した資金調達ということで御提案をさせていただいたところでもございませけれども、そういったものを活用して、Wi-Fi環境がない家庭のためにモバイルルーターを支給するような取組みがぜひお願いしたいと思ひませ、その辺のところ、経費的なところを含めていかがでしょうか。

◎武田文敏教育次長 お答え申し上げます。

先ほど、教育長答弁でもございませるように、他市の状況、そういった使用の状況等を全て検討しながら、どういったものが一番よろしいのか、その辺を見極めながら、モバイルルーターの導入等についても検討してまいりたいというふうにご考慮しておりますので、よろしくお願ひませ。

◆三宅和広議員 前向きにぜひ検討していただきたいと思ひませ。

先ほど、家庭学習以外には使わないことの誓約書を取ったり、あと閲覧サイトの制限を行ったりとか、いろんなことも含めて検討する必要があるのかなと思ひませ。その辺のところ含めて、ぜひ御検討いただければと思ひませ。

山本市長は就任以来、子育て支援日本一への挑戦ということを掲げてこられました。教育環境というものが、子育て支援日本一かどうかの重要な判断基準にもなるのかなと思います。教育環境が整っていなければ、子育て支援日本一の天童市とは思ってもらえないのではないかなと思います。

家庭学習でのタブレットの利活用とか、家庭でのWi-Fi環境の整備、こういったものを進めていただきまして、ぜひ子育て支援日本一の天童市と言われるようにしていきたいなと思ったところでございます。市長、その辺のところ何かコメントあればお願いしたいと思えます。

◎山本信治市長 御提案ありがとうございます。

今、様々な資機材の準備についてはお話しされたとおりだと思いますけれども、引き続き子どもたちの教育環境の充実に努めていきたいというふうに思います。

◆三宅和広議員 ぜひ、前向きに御検討いただいて、実現に至るようにお願いしたいなと思います。

以上で質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。